

令和2年度障害者による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）

障がいのある人との表現活動推進事業：ファシリテーター養成プログラム

「障がいのある人との表現を考えるラボ」

1 目的

障がいのある人との表現活動によって、障がい者を含む誰もが個性を発揮できる場所を社会の中で獲得し、自分らしく暮らせる社会を実現することを目的として、「障がいのある人との表現を考えるラボ」を開催し、障がい者支援に関わる方々やアーティストの方々と一緒に考え、交流を深めます。

2 主催 文化庁、NPO 法人シアターネットワークえひめ

文化庁委託事業「令和2年度障害者による文化芸術活動推進事業」

3 協力 愛媛県障がい者アートサポートセンター

4 実施場所 シアターねこ（愛媛県松山市緑町 1-2-1 電話：089-904-7025）

5 対象者

障がいのある人との表現活動に関心のある方々（障がい者施設の運営及びスタッフの方々等）

6 募集定員 15人（先着順）

7 参加費 500円（オンライン参加者は無料）

8 日程及び内容

I 障がいのある人の表現を考える（理解を深めよう）

様々な現場で想像力を引き出すワークショップを実施している有門正太郎氏と、障がいのある人の表現を一緒に考えます。

・日時：12/21,22（月火）各 19:00～21:00 ※オンライン参加あり

・アーティスト：有門正太郎（俳優・演出家・劇作家）

1975年、福岡県北九州市生まれ 倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、2005年「有門正太郎プレゼンツ」を始動。「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉に作、演出も勤める。北九州芸術劇場『日韓合同キャンプ～チャレンジ！えんげき～』、春日井文化フォーラム『演劇×自分

史』『旅旅』の総合演出等も務める。公共ホール等でこどもの想像力を引き出すワークショップを数多く実施。

※有門氏は、PCR検査をして松山入りします。

・プログラム

- 1) 講座 12/21 (月) 19:00-21:00 (実技も含む)
- 2) 講座 12/22 (火) 19:00-21:00 (実技も含む)

Ⅱ 障がい者をつくる演劇 (実践例を知ろう)

障がいのある人と様々な地域で作品づくりをしている永山智行氏を迎え、障がいのある人たちと一緒に作る演劇についてお話していただきます。

- ・日時：1/20,21 (火水) 各 19:00～21:00 ※オンライン参加あり
- ・アーティスト：永山智行 (演出家・劇作家)

1967年、宮崎県都城市生まれ 都城市を本拠地とする劇団こふく劇場代表。2001年『so bad year』でAAF戯曲賞受賞。2006年～2016年3月まで宮崎県立芸術劇場の演劇ディレクターを勤めた。2007年からは障害者も一俳優として参加する作品づくり (みやざき◎まあるい劇場)、子どもたちとの作品づくり (演劇ワークショップみまた座)、小中学校での上演 (夏と秋の巡回公演)、地域住民との作品づくり (みまた演劇フェスティバルまちドラ!) など、地域の多様な方々との作品づくりを行なっている。

・プログラム：

- 1) 講座 1/20 (火) 19:00-21:00 (実技も含む)
- 2) 講座 1/20 (火) 19:00-21:00 (実技も含む)

9 参加申込み

12月15日(火)までに氏名・所属・連絡先を記載してメールでご連絡ください。

追ってご連絡させていただきます。

メール送り先：kazenoneco@gmail.com

参加申込み・お問い合わせ

NPO 法人シアターネットワークえひめ

就労継続支援B型事業所 風のねこ

担当：郡司島・森本

〒790-0806 愛媛県松山市緑町1-2-1

電話：089-904-5173

Email: kazenoneco@gmail.com